

予算・決算審査特別委員分科会の審査方法の見直しに対する各会派の意見等について

No	見直す項目・対象等	たたき台案	自民党	民主党	公明党	共産党	未来創造ちば	市民ネットワーク	みんなの党	無所属
1	分科会数	5分科会	5分科会	5分科会	常任委員会単位の設置 5分科会	5分科会	5分科会	2分科会	全議員で構成する予算・決算審査特別委員会で審査し、分科会は設置しない。(全議員で全案件を審査する。)	5分科会
2	財政審査	<p>財政局は第1分科会の審査として初日に開催し、他の委員の傍聴をできるようにするため、他の分科会は開催しない。 全員で審査するのであれば質問時間を考慮する必要がある。</p>	5分科会の中で開催し、財政審査を単独開催としない。	<p>第1分科会委員以外も本市の財政状況を把握した上で審査すべきであり、財政局の審査を全員で行う。</p> <p>財政のことなら他局のことまで質問できるようにすると今の代表質疑と変わらず、意味がない。 また、千葉市の財政状況を議論する場で、傍聴では全員参加の審査とならないし、少数会派、無所属が審査に参加できないという弊害が生じる。</p>	<p>第1分科会で審査し、他の議員は傍聴する。</p> <p>会議場所は全議員が入室できる場所を考慮し、全員協議会室とし、単独で開催する。</p>	<p>予算全体が分からないで常任委員会単位で審査をするべきではなく、財政局は全員で審査する。</p>	<p>総括説明終了後に財政局に対する審査を全員で行う。第1分科会委員が主に質疑を行うものと考えているが、少数会派、無所属の発言機会を確保するため、1会派2名程度まで質疑を行う。</p> <p>会議場所は、議場または、全員協議会室とする。</p>	2分科会のうち一つの分科会が1日審査をする。(別途説明あり)	—	<p>第1分科会委員だけの審査では今までと変わらないため、財政局の審査は全体でできるようにする。 第1分科会委員以外も財政局に対する質問をある程度認めるほうが5分科会審査に見直す目的に合致する。 審査会場は議場が良い。</p>
3	1日当たりの分科会開催数・審査日数	1日の審査を1局、小さい局は2局ぐらいの審査とし、2分科会または3分科会のグループに分け、審査が重ならないように1週間とする。(財政局審査1日、3分科会審査2日、2分科会審査2日、1分科会審査1日、審査予備日及び指摘要望1日の7日)同時開催でも良いが、傍聴ができなくなるから分散開催案として出した。	5分科会の同時開催とし、1日1局の審査とする。	<p>財政局を全員で審査すれば、2分科会のメリット、5分科会のメリットを生かした日程でたたき台案はベターな案である。</p>	5分科会を2分科会と3分科会に分けて、開催する。 1日2局について審査する。	全議員による財政局審査1日、1日1分科会(常任委員会単位)の開催とする。	<p>財政局の審査は、総括説明と同日に行うため1日短縮する。また、指摘要望の審査は、各局に対する分科会審査の最終日に行い、1日短縮し、分科会審査日数は5日間とする。</p>	2つの分科会が、それぞれ日程を拡大して審査する。 :前期検討協議会で、日程を延ばすのは困難という意見があったが、今回のたたき台案では日程を延ばす案が出されている。それならば、これまで通りの2分科会のまま、十分な時間を取って審査すればよい。	—	局別審査でなく、時間単位の審査にする。あるいは同時開催も検討する。
4	会期日数が増えることへの対応	<p>会期日数が増えることは仕方なく、開会日を早める。</p> <p>指摘要望の審査は、どこかに入れ、日程を短縮するは可能である。</p>	会期日数は現状のとおりとする。	<p>会期日数が増えることは当然であり、閉会日を従来どおりとするため、開会日を早める。</p>	会期日数が増えるとしたら、開会日を前倒しする。	<p>会期日数が延びるため、開会日を早める必要がある。 執行部の都合を確認する必要がある。</p>	<p>議会機能を強化するため会期日数が増えることは必然である。</p>	<p>会期日数が増えるのは十分な審査のため必要である。開会日を早める等の対応が必要</p>	開会日を早める。	<p>会期日数が増えることは問題なく、支障もない。</p>
5	委員外議員の発言	委員外議員として発言するのではなく、委員の差し替えで対応するものとする。委員外議員の発言は議論する必要がある。	委員の差し替えで対応する。	委員外議員発言は、一定枠の中で認める。	委員外議員の発言は基本的に認めない。(差し替えで対応する。)	委員外議員の発言は認める。	委員の差し替えで対応する。	2分科会なら必要ない。仮に分科会を増やす場合は、委員外委員の発言も認める。	—	<p>少数会派にとっては重要である。 委員長の判断により決定である。</p>